

特集

ICF(国際生活機能分類)を
在宅ケアに活かす

2001年、WHO(世界保健機構)が採択したICF(国際生活機能分類)は、それまでの障害をマイナス面とらえて分類する考え方を、生活機能というプラス面からみる視点に転換し、さらに環境因子等の観点を加えたものです。この新しい概念を活用した、在宅ケアの可能性を特集します。

ICF分類の基本的な考え方、その意義、活用法 諏訪さゆり
ICFの考え方を取り入れているステーションからの実践報告

相原鶴代／宇多薫／野尻晋一

ICF分類の、多職種との共通言語としての可能性 藤田伸輔

ICF分類と今後の看護の方向性——看護はどちらに進むのか 大塚真理子

■特別記事

対談「在宅医療の未来を語る——そのとき訪問看護と介護は？」 上野千鶴子・松村真司

多職種チームの連携力を高める事例検討会——ケースメソッドを活用した取り組み 中川恵子

■研究報告

認知症に対する介護老人保健施設の機能 第二報：医療機能の調査 目黒謙一ほか

■連載

ケースメソッドでステーション経営の頭を鍛える！ 小池智子ほか／訪問看護時時刻々 石田昌宏／
在宅ケア もっとやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／介護における誤嚥事故の裁判例を読む 平
林勝政ほか／すっきり&安心アロマ 百々雅子・福島光子／ほんとの出会い 岡田真紀／読むことと
旅すること 服部祥子／お母さんといっしょ 横谷順子

編集
後記

●マグネット連載の越谷市医師会立訪問看護ステーション、インタビュー後にトーンチャイムを演奏してくださいました。見た感じはとても硬質な印象のトーンチャイムですが、ひとたび演奏が始まるとやさしく、温かく、癒しの音色に心がほぐれました。訪問看護ステーションはどれも人手不足で大変というなか、スタッフが集まって合奏しているステーションがある！ 訪問看護を広めようという地域への働きかけも見事でした。…………伊藤
●特集の切り口はイギリス。折しも、イギリスの若手劇作家脚本の翻訳劇を観ました。舞台は2006年のロンドン郊外。地域共同体が壊れ、人間関係の希薄になった世相が反映された現代劇で、日本の今とよく似ていました。しかし、手応えのない日々を送っていた主人公(40歳代女性)は突然旅に出、先々で生々しい人間関係を身を投じます。きっかけは、父親が破滅的な生活習慣から糖尿病で孤独に亡くなったこと。病气や死は、否応なく人との距離を縮め、共に生きる契機にもなるのだと思いました。医療者との関係もその1つとして描かれていました。…………杉本

訪問看護と介護 第15巻 第11号(通巻173号) 2010年11月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2010, Printed in Japan

1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ぎめ予約購読料13,200円(年間12冊, 税込, 送料弊社負担)

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円(税込, 送料弊社負担)

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：杉本・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp/

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCOPY】<(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, E-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/10/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。